

第 1 課

Yi⁴ ga¹ löng⁵ dim² yi⁶ 而 家 兩 點 二



學習要點

- ◇ -p, -t, -k と -m, -n, -ng でおわる音を重点的に。
- ◆ 数詞、年月日時刻や年齢にかんする簡単な対話を習得する。

I. 課文

CD 1-2

		十	sap ⁶		
一	yat ¹	十一	sap ⁶ yat ¹	零	ling ⁴
二	yi ⁶	十二	sap ⁶ yi ⁶	
三	saam ¹	十三	sap ⁶ saam ¹	幾	gei ²
四	sei ³	十四	sap ⁶ sei ³	十幾	sap ⁶ gei ²
五	ng ⁵	十五	sap ⁶ ng ⁵	二十幾	yi ⁶ sap ⁶ gei ²
六	luk ⁶	十六	sap ⁶ luk ⁶	幾十	gei ² sap ⁶
七	chat ¹	十七	sap ⁶ chat ¹	
八	baat ³	十八	sap ⁶ baat ³	兩 -	löng ⁵ -
九	gau ²	十九	sap ⁶ gau ²		

二十	yi ⁶ sap ⁶	【廿 - ya ⁶ - 〇】
二十一	yi ⁶ sap ⁶ yat ¹	【廿一 ya ⁶ yat ¹ 〇】
二十二	yi ⁶ sap ⁶ yi ⁶	【廿二 ya ⁶ yi ⁶ 〇】
二十三	yi ⁶ sap ⁶ saam ¹	【廿三 ya ⁶ saam ¹ 〇】
二十四	yi ⁶ sap ⁶ sei ³	【廿四 ya ⁶ sei ³ 〇】
二十五	yi ⁶ sap ⁶ ng ⁵	【廿五 ya ⁶ ng ⁵ 〇】
二十六	yi ⁶ sap ⁶ luk ⁶	【廿六 ya ⁶ luk ⁶ 〇】
二十七	yi ⁶ sap ⁶ chat ¹	【廿七 ya ⁶ chat ¹ 〇】
二十八	yi ⁶ sap ⁶ baat ³	【廿八 ya ⁶ baat ³ 〇】

二十九 yi⁶ sap⁶ gau² 【廿九 ya⁶ gau²】
 三十 saam¹ sap⁶ 【卅 - sa¹ a⁶ -】
 三十一 saam¹ sap⁶ yat¹ 【卅一 sa¹ a⁶ yat¹】

A: Gam¹ nin^{4,2} yi⁶ ling⁴ gei² gei² nin⁴ a³
 今年二零幾幾年(呀)?

B: Gam¹ nin^{4,2} yi⁶ ling⁴ _____ nin⁴
 今年二零_____年。

A: Gam¹ yat⁶ gei² yüt⁶ gei² hou⁶ a³
 今日幾月幾號(呀)?

B: Gam¹ yat⁶ _____ yüt⁶ _____ hou⁶
 今日_____月_____號。

A: Gam¹ yat⁶ sing¹ kei⁴ gei² a³
 今日星期幾(呀)?

B: Gam¹ yat⁶ sing¹ kei⁴ _____
 今日星期_____。

A: Yi⁴ ga¹ gei² dim² a³
 而家幾點(呀)?

B: Yi⁴ ga¹ _____ dim² _____
 而家_____點_____。

A: Nei⁵ saang¹ yat⁶ hai⁶ gei² yüt⁶ gei² hou⁶ a³
 你生日係幾月幾號(呀)?

B: Ngo⁵ saang¹ yat⁶ hai⁶ _____ yüt⁶ _____ hou⁶
 我生日係_____月_____號。

A: Kōu⁵ gam¹ nin^{4,2} gei² do¹ sōu³ a³
 佢今年幾多歲(呀)?

B: Kōu⁵ gam¹ nin^{4,2} yi⁶ sap⁶ sōu³
 佢今年二十歲。



II. 發音

1. 声母：無氣音と有氣音

CD 1-3

基本的には㊦(“普通話”、漢語共通語)の無氣：有氣と対応する。

{ b- [p] :	baat ³ 八	baai ³ 拜	bei ⁶ 鼻	bok ³ 膊
{ p- [p'] :	(paak ³ 拍)	(paai ³ 派)	pei ⁴ 皮	(pok ³ 撲)

{ d- [t] :	dai ⁶ 第	(dau ⁶ 豆)	(dou ⁶ 度)	doi ⁶⁻² 袋
{ t- [t'] :	tai ⁴ 題	tau ⁴ 頭	tou ⁵ 肚	toi ⁴⁻² 枱

{ zh- [ts] :	(zhat ¹ 質)	(zhi ³ 痣)	zhaui ⁶ 袖	zhung ¹ 鐘
{ ch- [ts'] :	chat ¹ 七	(chi ³ 廁)	(chau ³ 臭)	(chung ¹ 衝)

{ g- [k] :	gau ² 九	gei ² 幾	(gōu ⁶ 具)	gam ¹ 今
{ k- [k'] :	(kau ⁴ 求)	kei ⁴ 期	kōu ⁵ 佢	(kam ¹ 襟)

{ gw- [kw] :	g(w)ong ² 廣	(gwan ¹ 軍)	gwai ³ 貴	g(w)ok ³ 國
{ kw- [k'w] :	(k(w)ong ⁴ 狂)	kwan ⁴ 裙	(kwai ¹ 規)	(k(w)ok ³ 擴)

注1：gwong, kwong, gwok, kwokなどの“o”をふくむ韻母につながる(わたりの)“w”は、最近落ちてしまう傾向がみられる。たとえば“廣”はgong²(=講)と、“國”はgok³(=各)と発音されることが少なくない。

注2：本書「發音」部分の例で音節つづり字と漢字を()かっこで包んでいるものは、その漢字が本書のその課の近辺までにはまだ学んでいないことをあらわしている(以下同)。

注3：「發音」部分の対比音を行のはじめ(左端)で{かっこを用いてくくってあるばあいは、各例ごとに近似した音節を組んで並べてあるため、たて(上下)に読んで発音の区別を練習すべきことをあらわす。

2. 声母：鼻音声母とくに ng- [ŋ-]

CD 1-4

声母 m, n, ngとも鼻音で(それぞれ両唇、舌尖-歯茎、舌根-軟口蓋、つまり、b, d, gと同じ場所を閉鎖したのち発音するときに鼻むろで共鳴させる)、そのうち ngは(舌根-軟口蓋つまり)声母 gと同じ準備をして、発音するときに鼻むろで共鳴させればよい。たとえば ngo, ngaはそれぞれ日本語で(意識せずに)「りんご」「まんが」といったときの後半部の発

音に近い。

ただし、この ng- は最近の口語ではゼロ声母 [ø] になることが多い。また、ぎやくに本来のゼロ声母が ng- [ŋ-] と発音されることもあり、通用される。ng- 声母はほとんど日本漢字音ガ行との対応があるため、この区別は日本語話者にはかえってわかりやすい。

{	m- [m] :	(mo ² 摸)	(maan ⁶ 慢)	(ma ⁴ 麻)	(mau ⁶ 貿)
	n- [n] :	(no ⁶ 糯)	(naan ⁴ 難)	(na ⁴ 拿)	(nau ² 紐)
	ng- [ŋ, ø] :	(ngo ⁵ 我)	(ngaan ⁵ 眼)	(nga ⁴ 牙)	(ngau ⁴ 牛)
	cf) g- [k] :	(go ³ 個)	(gaan ² 簡)	(ga ¹ 家)	(gau ² 狗)
	cf) ゼロ- [ø, ŋ] :	(o ¹ 屙)	(aan ³ 晏)	(a ³ 阿)	(au ² 嘔)

3. 声母：前舌面（～舌尖）声母

CD 1-5

㊦のそり舌音ではない。{前舌面と上歯茎奥} から {舌尖と上歯裏} のあいだで幅がある。

zh- [tʃ ~ ts] :	zhōu ² 嘴	zhi ² 紙	zhōng ¹ 張	zhing ³ 正
ch- [tʃ' ~ ts'] :	chat ¹ 七	chin ⁴⁻² 錢	chek ³ 尺	ching ² 請
s- [ʃ ~ s] :	saam ¹ 三	sei ³ 四	sap ⁶ 十	sing ¹ 星

4. 韻母：円唇化母音 ü と ö

CD 1-6

口のたての開きが狭い i [i] と中程度の e [ɛ] の、それぞれ唇がまるくなった母音。その複合母音 öü もある（短韻母であって、長韻母の oi と対立 ⇒ 第5課 発音3）。

ü [y:] (i [i] の円唇化母音) :	(yü ⁵ 雨)	yüt ⁶ 月	yün ⁴ 原	sü ¹ 書 (zhü ¹ 豬)	
ö [œ:] (e [ɛ] の円唇化母音) :	hōng ¹ 香	zhōng ¹ 張	lōng ⁵ 兩	gök ³ 腳	sōn ³ 信
複合母音 öü [œy] :	söü ³ 歲	köü ⁵ 佢	zhöü ² 嘴	höü ³ 去	döü ³ 對

5. 韻母：長（広）母音 aa と短（狭）母音 a

CD 1-7

長母音 aa は長く発音するが、むしろ、あくびのときのように、口をせいいっぱい大きくあけるようにして、a と区別するのがよい。対立する短母音 a [ɐ] は口の開きが小さく、[ʌ]（英語の but などの）に近い。同字の㊦音のつづり字で “a” の有無が、広東語の長・短母音に対応することが多

い（⇒ 第5課 発展学習9）。

{ aa [a:] :	(saap ³ 坂)	saam ¹ 三	(gaam ¹ 監)	saang ¹ 生(日)	baat ³ 八	(chaat ³ 刷)
{ a [ɐ] :	sap ⁶ 十	sam ¹ 心	gam ¹ 今	sang ¹ 生(辰)	bat ¹ 筆	chat ¹ 七

{ aau [a:u] :	gaau ³ 教	(saau ² 稍)	(kaau ³ 靠)
{ au [ɐu] :	gau ² 九	sau ² 手	(kau ⁴ 求)

{ aai [a:i] :	baai ³ 拜	(laai ¹ 拉)	gaai ³ 戒
{ ai [ɐi] :	(bai ³ 閉)	lai ⁵ 禮	(gai ³ 計)

6. 韻母：閉鎖音韻尾（入声）-p, -t, -k

CD 1-8

閉鎖するときの内破裂だけでとめるが、それぞれ唇、舌前部、舌後部が当初は痛く感じるほど強く力をいれてとめる。それが離れるときの（英語のような）外破裂はさせない（英語でも文中の環境で外破裂しないことがしばしばある）。まして日本語のようにさらに母音などつけてはいけない。三者を比較してみる。

日本語	:[-puw, -to, -kuw]	アップ	アット	シック
英語	:[-p, -t, -k]	up	at	sick
広東語	:[^ɸ , ^{t̚} , ^{k̚}]	aap ³ 鴨	aat ³ 壓	sik ¹ 識

-p [p̚] :	sap ⁶ 十	hap ⁶⁻² 盒	(daap ³ 答)	(zhap ¹ 執)
-t [t̚] :	yat ¹ 一	chat ¹ 七	baat ³ 八	yüt ⁶ 月
-k [k̚] :	luk ⁶ 六	hok ⁶ 學	gök ³ 腳	mak ⁶ 墨

7. 韻母：鼻音韻母 -m, -n, -ng

CD 1-9

上項の入声 -p, -t, -k にきれいに並列対応していて、唇～舌による閉鎖位置がそれぞれ同じ。それを鼻むろで共鳴させればよい。ただし、唇、舌前部、舌後部による閉鎖はやはり意識して強く力をいれる必要がある。上項と連結して練習せよ。

-p — -m [-m] :	sap ⁶ 十	— sam ¹ 心	(zhap ¹ 執)	— (zham ¹ 斟)
-t — -n [-n] :	yat ¹ 一	— yan ⁴ 人	chat ¹ 七	— (chan ¹ 親)
-k — -ng [-ŋ] :	luk ⁶ 六	— (lung ⁴ 龍)	gök ³ 腳	— (gōng ¹ 薑)

-m : saam¹ 三・衫 gam¹ 今 dim² 點 (zham¹ 針)
 -n : nin⁴ 年 san¹ 身 min⁶ 面 ngaan⁵ 眼
 -ng : ling⁴ 零 löng⁵ 兩 sing¹ 星 saang¹ 生

8. 韻母：鼻音韻母 m, ng CD 1-10

単独で音節となる。口語では ng を m と同様に両唇を閉じて発音する人もある。

m [m] : m⁴ 唔

ng [ŋ] : ng⁵ 五・(午) (ng⁴ 吾・吳) (ng⁶ 誤・悟)

9. 声調 CD 1-11

実際的な六声(左図①~⑥)の調値と、概念的六声(右図①~⑥)あるいは伝統的九声(①~⑥, ⑦~⑨)。

調値図

①', ④' : 本来のように丁寧に発音されたときなどの調値

これは実際的な六声の相対的音高とその動きをあらわすが、むしろ概念としては右図のように考えると(伝統的呼び名ともあわせて)整理、理解しやすい。

概念図

1) 平上去の概念

2) 陰陽の概念

声調	伝統調類	調値	略図	特徴	例字
1声	陰平・陰入	55(また53)	ㄟ(ㄟ)	高	saam ¹ 三 yat ¹ 一
2声	陰上	35	ㄥ	高昇り	gau ² 九
3声	陰去・中入	33	ㄣ	中	sei ³ 四 baat ³ 八
4声	陽平	11(また21)	ㄣ(ㄣ)	最低	nin ⁴ 年
5声	陽上	23	ㄥ	低昇り	ng ⁵ 五
6声	陽去・陽入	22	ㄣ	低	yi ⁶ 二 luk ⁶ 六

音高動き型別高低順(⇒第2, 3課発音)

★平ら(または降り)調

1声(ㄟ高)	yat ¹ 一	saam ¹ 三	chat ¹ 七	gam ¹ 今
3声(ㄣ中)	sei ³ 四	baat ³ 八	fo ³ 課	go ³ 個
6声(ㄣ低)	yi ⁶ 二	sap ⁶ 十	dai ⁶ 第	yat ⁶ 日
4声(ㄣ最低)	ling ⁴ 零	nin ⁴ 年	kei ⁴ 期	tau ⁴ 頭

★昇り調

2声(ㄥ高昇り)	gau ² 九	gei ² 幾	gwong ² 廣	wa ⁶⁻² 話
5声(ㄥ低昇り)	ng ⁵ 五	löng ⁵ 兩	nei ⁵ 你	ngo ⁵ 我

III. 生字

CD 1-12

*各語彙の日本語語義欄の右端に〈 〉で包んで表示したのは、その名詞についておもに用いられる量詞である(⇒第3, 4課)。ごく一般的で“個”を用いるばあいなどは省略していることがある。

第	dai ⁶	(頭) 第…, …番め
課	fo ³	(量・名)…課
幾	gei ²	(数) (疑問、また不定) いくつの; いくつかの
幾多	gei ² do ¹	(数) いくら(の), どれだけ(の) (ていねいで、大きい数量にも)
零	ling ⁴	(数) 零, ゼロ

二	yi ⁶	(数) 二 (序数的)	
兩	lōng ⁵	(数) ふたつの (量数的) (“十”などの位の前後につかない)	
廿 [升]	ya ⁶ - (<yi ⁶ a ⁶)	(数頭) 二十… (単用しない。後に他の数詞や量詞)	
卅 [卅]	sa ¹ a ⁶ -	(数頭) 三十… (同上)	
年	nin ⁴	(量・名) …年	
月	yüt ⁶	(名尾) …月	〈個〉
號	hou ⁶	(名尾) (…月の) …日; (また一般に) …号	
歲	söü ³	(名尾) …歳	
點	dim ²	(量) …時 (名・動) 点 (のように数える)	
星期	sing ¹ kei ⁴	(名) 週。曜日の接頭辞	〈個〉
今年	gam ¹ nin ⁴ , ²	(名) ことし (⇒語法 4)	
出年	chöt ¹ nin ⁴ , ²	(名) らいねん (→ “舊 gau ⁶ 年” きょねん)	
今日	gam ¹ yat ⁶	(名) きょう (⇒語法 4)	
聽日	tīng ¹ yat ⁶	(名) あした (→ “嚟 kam ⁴ 日, 嚟 cham ⁴ 日” きのう)	
生日	saang ¹ yat ⁶	(名) 誕生日 (“生辰 sang ¹ san ⁴ ” は書きことば的)	
而家	yi ⁴ ga ¹	(名) いま (“依家 yi ¹ ga ¹ ” とも)	
我	ngo ⁵	(代) (自称) わたし	
你	nei ⁵	(代) (対称) あなた (口語では㊦ “您” と区別しない。読むときはいずれも nei ⁵)	
佢	kōü ⁵	(代) (他称。男女を区別しない) かれ, かのじょ (旧白話や他方言でも使われている “渠” の簡体字)	
呀	a ³	(気助) 疑問詞疑問, 肯否疑問に口語らしさを加える語気 (第3声) (⇒第2課 語法 3)	
呢	ne ¹	(気助) 提題疑問: 主題だけ出して説明をもとめる語気: …は (どうですか)? (⇒第2課 語法 3), また停頓の語気: …はね, …	
多謝	do ¹ zhe ⁶	(慣) (もの, おかね (や支払い), ほめことば, 祝いことばなどをもらったときの) ありがとうございます (“唔該 m ⁴ goi ¹ ” と区別⇒第4課 發展學習 1)	

IV. 語法

1. 数詞

基本的には漢語共通語 (“普通話”, ㊦と表記) と同様にはたらく。むしろ細部では異なることもある。

疑問 (または不定) 数詞は “幾 gei²” または “幾多 gei² do¹” を用いる。㊦の “几” と “多少” にあたり, “幾多” は大きい数字にも対応し, ていねいにもなる。 “幾” はふつう量詞 (的名詞) なしに単独では使えないが, “幾多” は単用もできる。

“兩 lōng⁵” は, ㊦と同様に序数詞でなく量数詞で, 年月日・曜日には使わないが, 年齢や時刻表現には使う。 “十 sap⁶” の前後にはつかない。

口語では二十以上の数 ‘…十…’ のなかでは, “十” を接中辞で “- a⁶ - (“呀” とあてるが第6声で, sap⁶ の短縮体)” ということが多い。

“二十-” …は “yi⁶ + - a⁶ -” … > “ya⁶ -” … となって, 漢字は “廿” を用いる。 “三十-” …は “sa¹ a⁶ -” … となって, 漢字は “卅” をあてる。つまり, ya⁶ yat¹ (廿一), ya⁶ yi⁶ (廿二), ya⁶ saam¹ (廿三) …… , sa¹ a⁶ gau² (卅九) のようにいう。

四十以上九十まで sei³ a⁶ - …, ng⁵ a⁶ - …, luk⁶ a⁶ - …, chat¹ a⁶ - …, baat³ a⁶ - …, gau² a⁶ - … と続く。

しかし, この “- a⁶ -” (呀) は接中辞であって, 十の倍数, たとえば 20, 30 などのキリのいい数のときは, そのままいきりできず, うしろに (他の数詞か) 量詞をつけて使う (× ya⁶, × sa¹ a⁶; ○ ya⁶ hou⁶, ○ sa¹ a⁶ hou⁶, ○ ya⁶ yat¹, ○ sa¹ a⁶ yi⁶)。

[例] 廿 ya⁶ - : 廿一, 廿二, 廿三, …… , 廿幾(?)

卅 sa¹ a⁶ - : 卅一, 卅二, 卅三, …… , 卅幾(?)

四呀 a⁶ - : 四呀一, 四呀二, 四呀三, …… , 四呀幾(?)

……

九呀 a⁶ - : 九呀一, 九呀二, 九呀三, …… 九呀幾(?)

幾呀 a⁶ - (?) : 幾呀歲 (?)

廿 ya⁶ 號, 廿一號, 卅 sa¹ a⁶ 號, 卅一號, 廿幾號 (?)

廿 ya⁶ 歲, 卅 sa¹ a⁶ 歲, 七呀三歲, 八呀四歲, 九呀幾歲

* “幾(?)”はこのテキストでは“幾”が疑問詞(いくつ?)にも不定数詞(いくつか)にもなることをあらわす。たとえば“廿幾歲(?)”は‘二十なん歳?’にも‘二十数歳’にもなる。

2. 量詞

㊤と同様、量詞が発達しているが、類によって精粗度が異なる。語法におけるはたらきは、より大きい(⇒第3, 4課)。

“年 nin⁴”、“課 fo³”(教科書等のレッスン単位)なども量詞的名詞(⇒第3課 語法5)で名詞が量詞を兼ねる。

3. 年月日・曜日・年齢などの表現

基本的に㊤と同様。時間の‘長さ’については第10課にくわしい。

年号は、一般的に数字(全けた、あるいは下二けた)を‘位’なしでつづ読みする。

〈(××) ×× “年 nin⁴”〉…年

[例] (一九)九七年 (yat¹ gau²) gau² chat¹ nin⁴

(二零)四七年 (yi⁶ ling⁴) sei³ chat¹ nin⁴

月日は、数詞に“月 yüt⁶”“號 hou⁶”を接尾させる(“日 yat⁶”は書きことば。ただし、この“日”は話しことばでは‘長さ’としての日(いちにち…)の意となる(⇒第6課生字))。

〈… “月 yüt⁶” … “號 hou⁶”〉…月…日

[例] 二月十二號 yi⁶ yüt⁶ sap⁶ yi⁶ hou⁶

曜日は、“星期 sing¹ kei⁴ [禮拜 lai⁵ baai³]”を接頭的に用い、数詞(月曜日から“一, 二, 三, 四, 五, 六”)また“日 yat⁶”(日曜日のばあい)をう

しろにつける。“禮拜”は少なくなりつつある。

〈“星期 sing¹ kei⁴ [禮拜 lai⁵ baai³]” …〉…曜日
星期二 [二, 三, 四, 五, 六, 日]

年齢は、数詞に“歲 sōu³”を接尾させる。

〈… “歲 sōu³”〉…歲

[例] 兩歲 lōng⁵ sōu³

二十二歲 yi⁶ sap⁶ yi⁶ sōu³

廿二歲 ya⁶ yi⁶ sōu³

4. 年・日の時間名詞

‘ことし’、‘きょう’を中心に過去と未来の年と日。

chin ⁴ nin ^{4,2} 前年 おとし	gau ⁶ nin ^{4,2} 舊年 きよねん	gam ¹ nin ^{4,2} 今年 ことし	chōt ¹ nin ^{4,2} 出年 らいねん	hau ⁶ nin ^{4,2} 後年 さらいねん
chin ⁴ yat ⁶ 前日 おととい	kam ⁴ yat ⁶ / cham ⁴ yat ⁶ 嚟日 / 嚟日 きのう	gam ¹ yat ⁶ 今日 きょう	ting ¹ yat ⁶ 聽日 あした	hau ⁶ yat ⁶ 後日 あさって

㊤と同様、この過去未来は語法には影響がない。

[例] 出年二零__ __年。

嚟日__月__號。

5. 数量詞的述語

㊤と同様、(一般的な話題で、きょう・いま・わたしなど簡単な主語についての) たんなる日付や時刻、年齢などをふつうにいう数量的フレイズはそのままで述語になれる。

判断動詞“係 hai⁶”(‘…だ’)(⇒第2課 語法2)はとくにもちだした主語(たとえば“我生日”)についていったり、強調している以外はなくてもよいが、否定表現では“唔係 m⁴ hai⁶”として用いる。

〈主語 (+ “係 hai⁶”) + 数量的述語〉きょうは…月…日です [日付等]

- [例] 今日五月六號。Gam¹ yat⁶ ng⁵ yüt⁶ luk⁶ hou⁶.
 (きょうは5月6日だ。)
 我生日係七月八號。Ngo⁵ saang¹ yat⁶ hai⁶ chat¹ yüt⁶ baat³ hou⁶.
 (わたしの誕生日は7月8日です。)
 聽日係星期六，唔係星期日。Ting¹ yat⁶ hai⁶ sing¹ kei⁴ luk⁶, m⁴
 hai⁶ sing¹ kei⁴ yat⁶.
 (あすは土曜日ですよ、日曜じゃない。)

6. 時刻の表現：量詞“點 dim²”と五分単位の数詞表現

名詞の(量)数をいうときは、一般に〈数詞 + 量詞 (+ 名詞)〉のパタンを使う。それを準用して、‘…時’はつぎのかたちをとる。

〈数詞 + “點 dim²” (+ “鐘 chung¹”)〉…時 [時刻]

[例] 一點(鐘), 兩點(鐘), 幾點(鐘)?

“鐘”はもともと‘かね’で、二時はかねを二つ点じる意味で、序数的に二つめ“×二點”でなく、量的に二つ“兩 lōng⁵ 點”である。

‘(なん時) なん分’も㊦と同様に量詞“分 fan¹”をも使えるが、生活口語では分単位を争わず、ふつうもっと大まかに五分単位の概数でいうことが多い。そのときは、もともとアナログ大時計文字盤の短針用の‘…時’をいうための数字(1～12、ただし6と12は使わない)を、長針用にも借用し、五分単位で順に1(5分)、2(10分)、3(15分)、……、10(50分)、11(55分)のよういう(⇒発展学習1)。

〈数詞“一～十二” + “點 dim²” + 数詞“一～十一, 幾”〉

…時…分ごろ (5分単位)

** [ただし、数詞“六” → “半 bun³”]

[例] 一點一 (1:05)	四點七 (4:35)
一點二 (1:10)	五點八 (5:40)
兩點三 (2:15)	六點九 (6:45)
兩點四 (2:20)	七點十 (7:50)
三點五 (3:25)	八點十一 (8:55)
三點半 bun ³ (3:30)	九點正 zhing ³ (9:00)

うしろの数詞に“幾”(いくつ、いくつかの)を用いて、“七點幾呀?”と疑問文にも使えるが、平叙文でさらに大まかな時刻、たとえば“八點幾”(8時台)などといういいかたも一般生活で常用する(他に⇒第11課 語法12)。

7. 語気助詞、その音高とリエゾン (連音)

㊦以上に語気助詞が発達し、文末などに多用される。たとえば“幾月幾號(呀)? Gei² yüt⁶ gei² hou⁶ (a³)?”などの疑問詞疑問文にも、口語では使うことが多い(⇒第2課 語法3の最後の部分)。

その声調(音高)は、疑問助詞は高いというのではなく、㊦のように前音節声調から規定された音高の轻声+イントネーションでもなく、広東語では基本的に語気助詞(単語)によって固有の声調(音高)があり、前音節の声調の影響をうけにくい(イントネーションの声調への影響については、発展学習2も参照)。

[例] 今日幾號呀? Gam¹ yat⁶ gei² hou⁶ a³?

(きょうはなん日ですか?)

二零零幾年呀? Yi⁶ ling⁴ ling⁴ gei² nin⁴ a³?

(二千なん年ですか?)

語気助詞は、音高については前音節の声調の影響をうけにくい、ただし、連音(リエゾン、フランス語に多く、日本語や英語でもみられる前音節尾と後の母音音節の連音)は状況が異なる。広東語では、連続音節の一般的な連音(リエゾン)はないが、語気助詞“呀(a³など)”(声母がゼロとみなされ、独立して発語されずに広口母音であるため、語頭に子音性が少ない)についてはありうる。この点は㊦と同様である。

[例] 晚安 maan⁵ on¹ [ɔ:n] ([nɔ:n]ではなく) (やすらかな夜を!)

幾年呀? Gei² nin⁴ a³ [a, na]? (なん年ですか?)

V. 練習

1. 聴寫：音聲課文

CD 1-13

たんなる聞き取り、書き取り練習ではない。前書きの「構成内容説明と凡例」V.1参照。各課とも、Iの(文字)課文と同列の音声課文であると

いう意識で、何回も聞き（発音字典他も使って）よく考え、書き取る。そして各自の耳の奥の「音声引き語彙集」を豊かにし、また（目からよりも）耳から口への応用、活用をすすめていく。



【内容簡介】ある日の年月日や時刻、また相手の生年月日と年齢についての対話。ある日とは香港の近年の歴史的年月日を借用。

2. 口頭翻譯

A.

1. ことは二〇__ __年だ。
2. きょうは__日です。
3. きょうは__月__日だ。
4. きょうは__曜日だ。
5. いま__時__分（ぐらい、五分単位で）だ。
6. わたしの誕生日は__月__日だ。
7. わたしは22歳だ。
8. ことは二千なん年ですか？
9. きょうはなん月なん日ですか？
10. きょうはなん曜日ですか？
11. いまなん時ですか？
12. いま二時なん分（ぐらい）ですか？
13. あなたの誕生日はなん月なん日ですか？
14. かれはことしなん歳ですか？
15. 二月二日二時
16. 火曜日二時十分
17. （二時すぎ～）二時台
18. 二十数歳
19. 一九九七年（“香港回歸中國”）
20. 二〇四七年（“回歸後五十年”）
21. 一八四〇年（“鴉片戰爭”）

22. 一八四三年（“北京條約”）
23. 一八四五年（“第二次鴉片戰爭”）
24. 一八九八年（“租借新界”）
25. 一九四九年（“中華人民共和國成立”）

B.

1. きょうは二千なん年なん月なん日ですか？
— きょうは二〇〇__年__月__日__曜日です。
2. あなたの誕生日はなん月なん日ですか？
— わたしの誕生日は__月__日です。
3. 一九九七年には、かれはなん歳でしたか？ — 二十三歳です。
4. ことし__月__日、かれは二十歳になります。

3. 問答・敘述練習

A. 二人でペアを組んで、既習の語彙、語法を使い、發展學習の語彙も活用して、年月日、時間、誕生日などについて問答してみよう。

【例】 ことは二千なん年ですか？

きょうはなん月なん日なん曜日ですか？

あしたはなん曜日ですか？

きのうはなん月なん日だったか？

いまなん時ですか？

あなたの誕生日はなん月なん日ですか？

B. ひとりで、既習の語彙、語法を使い、發展學習の語彙も活用して、できるだけ長く、なるべく連続性のある話をしてみよう。

【例】 ことは二千なん年。

きょうは__月__日__曜日です。

きのうは__月__日__曜日、あした__月__日__曜日です。

いま__時__分ぐらいです。

わたしの誕生日は__月__日です。

あなたの誕生日はなん月なん日ですか？

VI. 發展學習

1. “兩點三” (2:15) はもともと……

このようないいかたは、時計の文字盤の短針用の数字を読んでいる。したがって“…點…個字 go³ zhi⁶”とも、さらにもともと“…點踏 daap⁶ …個字”ともいう (⇒第10課 語法1)。“踏”は足(長針)で‘ふむ’。たとえば“兩點三”は、もとは“兩點踏三個字”であり、“兩點踏三”、“兩點三個字”などともいう。

なお、2時ちょうど (2:00) を強調して“兩點踏正 zheng³”、“兩點正 zhing³”ともいう (前者がより口語的、後者が書面的で、両者の“正”の発音も異なる)。

また2時半を“兩點踏半 bun³”ともいう。

2. 声調へのイントネーションの影響

語気助詞の音高がだいたい語気によってきまっていることは、「語法7 語気助詞」で述べた。しかし、ぎゃくに、おうむ返しのような問いかえし疑問文の(文末にくる)単語などはイントネーションの影響をうけて固有の声調を失い、上昇調になることがよくあり、この点も⊗とは異なる (本来の声調の発音のあとに語気助詞“呀 a⁴?”をつける方法もある。⇒第5課 語法5)。

[例] 一八四二? [yi ↗] (1842ですって?)
九七年? [nin ↗] (97年ですって?)
真 zhan¹ 係? [hai ↗] (ほんとうに?)

3. ♪♪ HAPPY BIRTHDAY ♪♪

誕生日祝いによくうたわれる“Happy birthday to you!”の歌を、つぎのフレーズのくりかえしでうたってみよう。

Zhuk¹ nei⁵ sang¹ san⁴ faai³ lok⁶!
“祝 你 生 辰 快 樂!”



歌詞は書きことば的だが、話しことばでは中国語のきまり文句で“生日快樂! Saang¹ yat⁶ faai³ lok⁶!”とって祝い、当人は“多謝! Do¹ zhe⁶!”と応じればよい。

4. 広東語閉鎖韻尾【入声音】と日本漢字音(-フ・ツ・チ・ク・キ)との対応

広東語は現代中国語(漢語)のなかでも古代中国語の閉鎖韻尾[入声音=にっしょうおん]-p, -t, -kを基本的にきれいに保存している方言である。したがって古代中国漢語音の入声音を多少変形させながらも残している日本漢字音(また朝鮮漢字音)とよく対応していて、日本語(また朝鮮語)話者には、広東語学習上、(中国語共通語話者にはない)大きな助けとなる。

広東語音	日本漢字音	例字
-p	-フ	十 sap ⁶ ジフ>ジウ>ジュウ 踏 daap ⁶ タフ>タウ>トウ
-t	-ツ	月 yüt ⁶ ゲツ, ガツ 擦 chaat ³ サツ 出 chöt ¹ シュツ
-t	-チ	一 yat ¹ イチ 七 chat ¹ シチ 八 baat ³ ハチ 日 yat ⁶ ニチ
-k	-ク	六 luk ⁶ ロク, リク 祝 zhuk ¹ シュク 樂 lok ⁶ ラク
-k	-キ	歴 lik ⁶ レキ 的 dik ¹ テキ 式 sik ¹ シキ 席 zhik ⁶ セキ

* 日本漢字音では -p, -t, -k と同じ唇、歯茎、上あご奥の各閉鎖のあとに母音ウ、イをつける。-p のばあいは閉鎖は摩擦になり、ウ、さらに長音となった。

* 朝鮮漢字音は -p, -l (-t とおなじ歯茎音), -k で対応する。

5. 広東語鼻音韻尾と日本漢字音等との対応表

広東語では前項4.の古代中国語の閉鎖韻尾[入声音]-p, -t, -kのほか、それと口内の閉鎖場所が同じ(並列分布する)鼻音韻尾 -m, -n, -ng が保存されていて、朝鮮漢字音(金 キム、林 イム等)とも対応している。このうち -m は、中国語共通語(北京語)では -n に吸収され、日本漢字音でも -ン となっている。しかし広東語で -ng がそれとも他の二者(-m または -n) かということは日本語話者には漢字音の語尾が、-ウあるいは -イか、それとも -ンかによって(中国語共通語と同様に)類推できる。

広東語音	朝鮮漢字音	北京語音	日本漢字音	例字
-m	-m	-n	-ン	三今點衫琴心音林鹹
-n	-n		年前面身眼本問邊見	
-ng	-ng	-ng	-ウ -イ	兩鐘廣東領香港 零星名姓生